

令和3年度
MEMSパークコンソーシアム
総会議案書

令和2年度 事業活動報告・決算報告
令和3年度 事業計画（案）・審議事項

令和3年7月7日（水）

MEMS
PARK CONSORTIUM

報告事項

1 活動方針（令和2年度総会決定）

既存事業については、経常的経費の削減を行い、ネットワーク活動のさらなる充実に充て、会員満足度の向上を図る。

また、マスコミからの注目度の高い国際イノベーションコンテスト（iCAN）の活用や、展示会への出展を通して広報活動を強化することで、新規会員の獲得を図る。

(1) 情報発信事業

MEMS 集中講義や他機関との連携による効果的なセミナーを実施し、MEMS 技術の積極的な活用を促すとともに、WEB サイト、メールマガジン等の広報ツールを活用し、会員企業様への情報発信の更なる充実を図る。

また、各県公設試や企業と連携の上、ナノ・マイクロビジネス展等への出展を継続し、東北地域のものづくりネットワークを広くアピールする。

さらに、仙台 MEMS ショールームの各種展示物のアップデートにより、MEMS 分野における最新情報を発信していくほか、ショールーム内でのセミナーを開催することにより、仙台地域における MEMS の拠点性をアピールする。

(2) 人材育成事業

基礎講座・設計実習・試作実習とも希望に応じて実習開始時期を通年とし、より企業ニーズに即した形で会員企業様等が自ら企画したデバイスの試作実習ができるよう、人材育成事業を実施する。

また、iCAN' 20 国内予選の仙台開催、世界大会の日本事務局の運営により、高校生から大学院生等の次世代の MEMS 技術を担う若手人材育成を強力に推進する。

(3) 技術相談事業

展示会での技術相談のほか、WEB や東北地域の関係機関によるネットワークを有効に活用して迅速な課題解決を図る。

(4) ネットワーク形成事業

セミナーと連動した交流会の実施により、会員同士、講師の方々との情報交流を促進し広範なネットワーク形成を支援する。

2 活動内容（実績）

(1) 情報発信事業

①公開セミナーの開催

■第 18 回 MEMS 集中講義（ライブ配信）

日程：令和 2 年 8 月 19 日（水）～8 月 21 日（金）

参加者数：298 名（一般 282 名，講師・関係者 16 名）

内容：

- ・感染症対策により YouTube ライブ配信での開催となった今年は，東北大学の研究者の方々より，MEMS 技術の基礎的知識から各分野のアプリケーションへの応用展開，最新の技術・業界動向や，センサ・MEMS を用いた異分野融合研究について等，様々な角度から情報提供を行った。

■マイクロシステム融合研究会

本研究会では，大学や企業の方が集まって，各々の研究している技術の現状や，新しいプロジェクトの展望，MEMS を含む今後のナノテク分野の産業の在り方などについて発表・議論した。

・ 第 29 回マイクロシステム融合研究会（オンライン）

日程：令和 3 年 3 月 3 日（水）13:30～17:40

参加者数：111 名、視聴者：約 90 名

②展示会の開催・出展

■MEMS センシング&ネットワークシステム展 2021

日程：令和 2 年 12 月 9 日（水）～11 日（金）

会場：東京ビッグサイト

展示会来場者（3 日間合計）：10,615 名

（オンライン展示期間：令和 2 年 10 月 26 日（月）～令和 3 年 1 月 15 日（金））



展示の様子

〔内容〕MEMS パークコンソーシアムは東北大学マイクロシステム融合研究開発センターのブース内に紹介パネル（コンソーシアム概要／人材育成事業）及びパンフレット等を展示した。

感染症拡大の影響によりパネル説明員の派遣を見合わせたため，来訪者との交流は行えなかったが，準備した MEMSPC のパンフレット（200 部）は全数はけており，ブース訪問者に関心を持っていただいた。

〔主な同時開催イベント〕nano tech 2021 国際ナノテクノロジー総合展・技術会議

③MEMS ショールームの運営

新型コロナウイルス感染症の影響により MEMS ショールームの見学者数は前年度と比べ減少したものの、西澤センター利用者を中心として、展示デバイスや MEMS の歴史等を見学いただいた。

- ・令和 2 年度見学者数（署名いただいた方）：15 名（令和 3 年 3 月末現在）
- ・オープン（平成 24 年 5 月）以降累積見学者数：1,151 名

(2) 人材育成事業

①第 11 回国際イノベーションコンテスト（iCAN' 20）国内予選

日程：令和 2 年 9 月 30 日（水）

場所：オンライン配信

参加者総数：76 名（チーム・担当教員・チーム関係者 62 名、審査員 4 名、事務局 10 名）

内容：MEMS デバイスを用いたアプリケーションを提案し、試作した成果を競う国際コンテストの国内予選を開催した。大学生・専門学生・高校生計 14 チームが予選に参加し、審査の結果、石巻専修大学 (ROGERIO) の『路面状況検出システム』、仙台城南高等学校・東北大学 (HEIJI) の『爆音安心』、東北大学 (FUKUZA) の『LuftWrite』、甲府南高等学校 (P. Phantom) の『シャベルシャベル』の上位 4 チームが世界大会（オンライン）の出場を決めた。



事務局およびオンライン参加者全体集合写真

②第11回国際イノベーションコンテスト (iCAN' 20) 世界大会

日程：令和2年10月27日(火) 29日(木)

場所：中華人民共和国・青島市(他国チームはオンライン参加)

出場国(地域)：中国, フランス, 日本, タイから15チーム

内容：石巻専修大学(ROGERIO) → 2位

東北大学(FUKUZA) → 2位

仙台城南高等学校・東北大学(HEIJI) → 3位

甲府南高等学校(P. Phantom) → 3位



現地参加チームの集合写真

③MEMSPC 人材育成事業

MEMSPCでは、既存産業の高付加価値化、競争力強化のため、MEMS技術全般について体系的に習得した人材を育成する事業を、産学官連携で提供した。

- ・基礎講座(インターネットスクール) 受講者数：3名

(3) 技術相談事業

各種展示会や試作コインランドリでの技術相談のほか、MEMSパークコンソーシアムのホームページ上に、MEMS技術に関する各種相談を受けるための相談窓口を開設している。

(4) ネットワーク形成事業

情報交換の場の提供

各種セミナー・フォーラムの開催後、参加者相互、講演者等とのネットワーク構築、情報交換のための交流の場を提供し、皆さまにご参加いただいた。

- ・交流会の実施：1回

3 東北大学試作コインランドリ

MEMS を中心とした各種半導体試作開発に関わる 4/6 インチラインを企業などに開放し、実用化を支援している。技術は保有しているが、適当な試作開発設備が無くて困っている企業等が人材を派遣して自ら試作を行うことで開発のコスト、リスクを軽減でき、実際の経験を持つ技術者も育成できる。

令和元年度文部科学省先端研究設備整備補助事業（物質・材料科学分野）に採択され、i線ステッパ（キヤノン FPA-3030i5+）をはじめとする大型装置を導入した。多種多様な材料に対応した装置であり、多くのニーズに応えられるため、利用者の増加が期待できる。



装置搬入時の写真

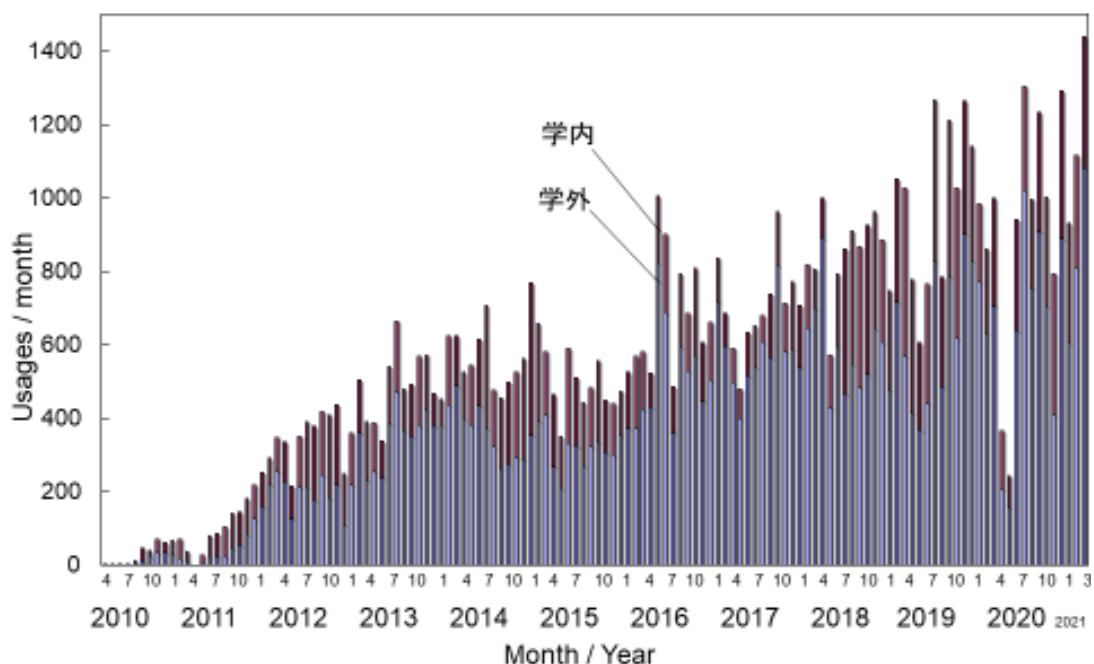
《令和2年度利用実績》（令和3年3月末現在）

- ・ 利用件数 11,650 件（※これまでの推移は下図参照）
- ・ 利用料収入 20,023 万円

（参考）令和元年度利用実績

- ・ 利用件数 11,684 件
- ・ 利用料収 20,164 万円

試作コインランドリ 装置利用件数 ~2021.3



令和2年度 決算報告

1 一般会計

(単位：円)

※令和3年3月末現在

【一般会計】収入の部				
項目		令和2年度予算	令和2年度決算	備考
前年度繰越金		16,042,111	16,464,561	
会費収入		4,300,000	3,800,000	1口50,000円
人材育成試作実習受講料		0	0	
協賛金		0	100,000	財団法人みやぎ産業科学振興基金様
交流会会費		100,000	0	
雑収入		0	148	銀行利息
収入合計		20,442,111	20,364,709	
【一般会計】支出の部				
項目	内訳	令和2年度予算	令和2年度決算	備考
広報関係費	活動案内パンフ増刷	30,000	0	
	さくらインターネットHP更新作業費	6,000	3,982	
	さくらインターネットサービス継続利用料	6,000	5,238	
小計		42,000	9,220	
出展関係費	MEMSセンシング&ネットワークシステム展	100,000	0	パッケージブース出展予定
	SEMICON Japan関係	50,000	0	アカデミックブース出展
小計		150,000	0	
セミナー関係費	MEMS Engineer Forum関係	70,000	0	MEMSPCブース出展費用
	MEMSマッチングフォーラム	150,000	0	
	MEMS集中講義開催経費	200,000	1,652	講師用飲料(令和2年8/19-8/21 オンライン開催)
	マイクロシステム融合研究会	0	20,000	第29回マイクロシステム融合研究会 講師謝礼金
小計		420,000	21,652	
交流会開催費	MEMS集中講義	100,000	0	令和2年8/19-8/21オンライン開催
	MEMSマッチングフォーラム	100,000	0	
	マイクロシステム融合研究会	100,000	0	令和3年3/3オンライン開催 (交流会もオンライン)
	MEMSPC Cafe	100,000	0	
小計		400,000	0	
人材育成運営費	人材育成運営費	200,000	0	人材育成試作実習運営経費
小計		200,000	0	
iCAN運営費	iCAN運営費	2,406,000	631,641	※詳細な内訳は特別会計予算参照
小計		2,406,000	631,641	
事務関係費	消耗品費	30,000	10,860	事務消耗品費・年会費請求書・監査資料返送料金
	銀行手数料	3,500	2,970	銀行振込・払戻手数料等
小計		33,500	13,830	
ショールーム関係費用	建物賃付料	170,000	158,466	
	光熱費	45,000	35,103	R02.2月～R03.1月分
小計		215,000	193,569	
支出合計		3,866,500	869,912	
当年度収支		533,500	3,030,236	
次年度繰越金		16,575,611	19,494,797	

2 特別会計 令和2年度 iCAN 運営費

(単位：円)

※令和3年3月末現在

* iCAN20 国内予選大会は4/12 せんだいメディアテーク開催予定だったが

新型コロナウイルス感染拡大の為オンライン審査へ変更、9/30 開催

世界大会もオンラインへ変更、10/27・10/29 開催

【iCAN運営費(特別会計)】 収入の部				
項目		令和2年度予算	令和2年度決算	備考
一般会計からの繰入金		2,406,000	631,641	
協賛金・助成金		0	0	
雑収入		0	287,196	せんだいメディアテークiCAN20施設使用取消還付金差額分 振込20,200円,利息6円 iCAN20世界大会入賞賞金(4チーム分)海外送金
収入合計		2,406,000	918,837	
【iCAN運営費(特別会計)】 支出の部				
項目	内訳	令和2年度予算	令和2年度決算	備考
国内旅費	国内予選参加チーム旅費	0	0	新型コロナウイルス感染拡大防止の為、オンライン開催 (9/30)に変更
	世界大会参加国内旅費	200,000	0	新型コロナのため世界大会はオンライン開催 (10/27.10/29)に変更
小計		200,000	0	
海外旅費	世界大会参加旅費	1,356,000	0	新型コロナのため世界大会はオンライン開催 (10/27.10/29)に変更
小計		1,356,000	0	
国内予選 人件費	審査員謝金	50,000	30,000	
	審査員旅費	150,000	0	
	司会委託費	20,000	0	
小計		220,000	30,000	
器具・備品費	国内予選分試作補助費	340,000	156,479	上限20,000円×14チーム
	世界大会分試作補助費	40,000	22,284	上限20,000円×2チーム(2チームは申請無)
小計		380,000	178,763	
使用料・借用費	国内予選会場使用料	100,000	99,850	iCAN21国内予選大会会場せんだいメディアテーク施設使用料
小計		100,000	99,850	
印刷・製本費	国内予選広報費	85,000	81,180	iCAN21国内予選チラシ・ポスター制作費
小計		85,000	81,180	
食糧費	国内予選交流会費	0	0	
小計		0	0	
事務関係費	消耗品費	55,000	54,024	事務消耗品、各種案内送料、クレジットカード年会費
	銀行手数料	10,000	8,030	銀行振込・払戻手数料等
小計		55,000	62,054	
雑費	国内大会事務経費	0	200,000	Amazonギフト券(オンライン開催になった為、 副賞3チーム、1位10万円分、2位5万円分×2チーム)
	世界大会事務経費	10,000	266,990	世界大会入賞4チームへ賞金として振込 (オンライン開催となった為)
小計		10,000	466,990	
支出合計		2,406,000	918,837	
当年度収支		0	0	

**令和 3 年度事業計画（案）
審議事項**

- 1 役員の就任・辞任・変更
- 2 令和 3 年度事業計画（案）
- 3 令和 3 年度予算（案）

1 役員の就任・辞任・変更

MEMSPC 総会にて承認を得た後、下記のとおり役員体制を変更する。

(1) 就任・辞任

新	旧	所属	肩書
武藤 寿彦	蘆田 和也	東北経済産業局	役員（副代表）
平井 淳生	相樂 希美	東北経済産業局	役員（顧問）
武居 正彦	松下 浩二	富士電機 株式会社	役員（幹事）

(2) 変更

新	旧	所属	肩書
渡辺 秀幸	千葉 幸治	株式会社 日本政策投資銀行 東北支店	推進委員会委員

2 令和3年度事業計画（案）

令和2年度に引き続き、①情報発信事業、②人材育成事業、③技術相談事業、④ネットワーク形成事業を実施すると共に、以下のとおり事業の充実化を図る。

(1) 試作コインランドリ利用の推進について

各種展示会や講演会、仙台 MEMS ショールーム等において、試作コインランドリの活用による実用化例や、利用可能な設備、技術等の情報を広く発信して利用者の増加を目指す。また、MEMSPC 会員のネットワークも活用しながら、開発の支援を行う。

(2) MEMS 集中講義

第19回のMEMS集中講義をライブ配信にて開催予定。

MEMSの基礎知識から学会等の最新情報までを幅広く扱って、MEMSに携わっている技術者、これから関係しようとする技術者に必要な情報を提供する。

(3) MEMSPC 会員企業の要望に応じたネットワーク構築活動

これまでのMEMSPCの取組みにより培ったネットワークを、会員企業がより効果的に利用できるよう、要望に応じて事務局がコーディネートや企業訪問を行う等により会員企業のネットワーク構築に寄与する。

3 令和3年度予算(案)

(1) 令和3年度 MEMSPC 予算積算内訳(一般会計)

(単位:円)

令和3年度 MEMSPC 予算積算内訳(一般会計)				
(単位:円)				
収入の部				
項目	令和3年度予算	令和2年度決算	備考	
前年度繰越金	19,494,797	16,464,561		
会費収入	4,300,000	3,800,000	1口50,000円	
人材育成試作実習受講料	0	0		
協賛金	0	100,000	財団法人みやぎ産業科学振興基金様	
交流会会費	100,000	0		
雑収入	0	148	銀行利息	
収入合計	23,894,797	20,364,709		
支出の部				
項目	内訳	令和3年度予算	令和2年度決算	備考
広報関係費	活動案内パンフ増刷	30,000	0	
	さくらインターネットHP更新作業費	6,000	3,982	
	さくらインターネットサービス継続利用料	6,000	5,238	
小計		42,000	9,220	
出展関係費	MEMSセンシング&ネットワークシステム展	100,000	0	パッケージブース出展予定
	SEMICON Japan関係	50,000	0	アカデミックブース出展
小計		150,000	0	
セミナー関係費	MEMS Engineer Forum関係	70,000	0	MEMSPCブース出展費用
	MEMS集中講義開催経費	200,000	1,652	講義映像記録費・会場使用料・講師謝金・旅費
	マイクロシステム融合研究会	0	20,000	
小計		270,000	21,652	
交流会開催費	MEMS集中講義	100,000	0	令和2年8/19-8/21オンライン開催
	マイクロシステム融合研究会	100,000	0	令和3年3/3オンライン開催 (交流会もオンライン)
	MEMSPC Cafe	100,000	0	
小計		300,000	0	
人材育成運営費	人材育成運営費	200,000	0	人材育成試作実習運営経費
小計		200,000	0	
iCAN運営費	iCAN運営費	2,682,000	631,641	※詳細な内訳は特別会計予算参照
小計		2,682,000	631,641	
事務関係費	消耗品費	30,000	10,860	事務消耗品費, 年会費請求書・監査資料返送料金
	銀行手数料	3,500	2,970	銀行振込・払戻手数料等
小計		33,500	13,830	
ショールーム関係費用	建物賃付料	170,000	158,466	
	光熱費	45,000	35,103	R02.2月~R03.1月分
小計		215,000	193,569	
支出合計		3,892,500	869,912	
当年度収支		507,500	3,030,236	収入合計(前年繰越を除く)ー支出合計
繰越金		20,002,297	19,494,797	

(2) 令和3年度 iCAN 運営費 予算積算内訳 (特別会計)

(単位:円)

令和3年度 MEMSPC 予算積算内訳 (特別会計)				
(単位:円)				
収入の部				
項目		令和3年度予算	令和2年度決算	備考
iCAN運営費(一般会計より)		2,682,000	631,641	
協賛金・助成金		0	0	
雑収入		0	287,196	銀行利息
収入合計		2,682,000	918,837	
支出の部				
項目	内訳	令和3年度予算	令和2年度決算	備考
国内旅費	国内予選参加チーム旅費	296,000	0	【R3予算】 東北地域60,000円(5,000円×3チーム) 関東地域52,000円(13,000円×1チーム) 中部地域184,000円(23,000円×2チーム) ※1チーム4名で積算 ※県内からの参加者は補助無し
	世界大会参加国内旅費	200,000	0	
小計		496,000	0	
海外旅費	世界大会参加旅費	1,356,000	0	【R3予算】 航空券(100,000円/人×8人) 宿泊料(16,100円/泊×8人×3泊) 日当(5,300円/日×8人×4日) ※2チーム(8人)で積算
小計		1,356,000	0	
国内予選 人件費	審査員謝金	50,000	30,000	
	審査員旅費	150,000	0	
	司会委託費	20,000	0	
小計		220,000	30,000	
器具・備品費	国内予選分試作補助費	240,000	156,479	上限20,000円×12チーム
	世界大会分試作補助費	40,000	22,284	上限20,000円×2チーム
小計		280,000	178,763	
使用料・借用費	国内予選会場使用料	100,000	99,850	
小計		100,000	99,850	
印刷・製本費	国内予選広報費	85,000	81,180	チラシ・ポスター制作費
小計		85,000	81,180	
食糧費	国内予選交流会費	80,000	0	
小計		80,000	0	
事務関係費	消耗品費	55,000	54,024	事務消耗品、各種案内送料、クレジットカード年会費
	銀行手数料	10,000	8,030	銀行振込・払戻手数料等
小計		55,000	62,054	
雑費	国内大会事務経費	0	200,000	国内予選大会副賞等
	世界大会事務経費	10,000	266,990	海外旅行保険料
小計		10,000	466,990	
支出合計		2,682,000	918,837	
当年度収支		0	0	収入合計－支出合計

MEMS パークコンソーシアム 令和3年度役員等名簿(案)

【役員】				
肩書	所属	部署	役職	氏名
代表	東北大学	マイクロシステム融合研究開発センター	教授	戸津 健太郎
副代表	SEMIジャパン		代表	浜島 雅彦
副代表	東北大学	未来科学技術共同研究センター	教授	桑野 博喜
副代表	東北大学		名誉教授	原山 優子
副代表	東北経済産業局	地域経済部	部長	武藤 寿彦
副代表	宮城県	経済商工観光部	部長	千葉 隆政
副代表	仙台市	経済局	局長	村上 薫
監事	株式会社 日本政策投資銀行	東北支店	支店長	高田 佳幸
幹事	富士電機 株式会社	パワエレシステム インダストリー事業本部 開発統括部 計測・制御開発センター 計測機器開発部	主席	武居 正彦
幹事	株式会社 アドバンテスト研究所		代表取締役社長	君島 正幸
幹事	株式会社 メムス・コア		代表取締役社長	本間 孝治
幹事	産業技術総合研究所 東北センター		上席イノベーションコーディネータ	南條 弘
幹事	一般社団法人 東北経済連合会	東経連ビジネスセンター	センター長	西山 英作
幹事	東北大学ベンチャーパートナーズ		代表取締役社長	吉村 洋
顧問	一般社団法人 東北経済連合会		会長	海輪 誠
顧問	東北大学		総長	大野 英男
顧問	東北経済産業局		局長	平井 淳生
顧問	宮城県		知事	村井 嘉浩
顧問	仙台市		市長	郡 和子

【アドバイザー】

アドバイザー	東北大学	マイクロシステム融合研究開発センター	シニアリサーチフェロー	江刺 正喜
--------	------	--------------------	-------------	-------

【推進委員会委員】

肩書	所属	部署	役職	氏名
委員長	東北大学	マイクロシステム融合研究開発センター	特任教授	大高 剛一
委員	株式会社 日本政策投資銀行	東北支店	次長兼企画調査課長	渡辺 秀幸
委員	株式会社 ティ・ディ・シー		代表取締役社長	赤羽 優子
委員	株式会社 リコー	先端デバイス研究センター		佐々木 俊英
委員	一般社団法人 東北経済連合会	東経連ビジネスセンター	センター長	西山 英作
委員	東北大学	研究推進部産学連携課	課長	菊田 克也
委員	東北経済産業局	地域経済部製造産業・情報政策課	課長	村田 久明
委員	宮城県	経済商工観光部新産業振興課	課長	小谷野 聡
委員	仙台市	経済局産業政策部産業振興課	イノベーション推進担当課長	林 雄次

【事務局】

肩書	所属	部署	役職	氏名
事務局長	東北大学	マイクロシステム融合研究開発センター	特任教授	大高 剛一
	東北大学	マイクロシステム融合研究開発センター	教授	戸津 健太郎
	東北大学	マイクロシステム融合研究開発センター	事務補佐員	庄子 留美子
	東北経済産業局	地域経済部製造産業・情報政策課	課長補佐	晴山 美保子
	東北経済産業局	地域経済部製造産業・情報政策課	総括係	今田 祥平
	東北経済産業局	地域経済部製造産業・情報政策課	総括係	櫻井 寛之
	宮城県	経済商工観光部新産業振興課	課長補佐(班長)	大友 啓司
	宮城県	経済商工観光部新産業振興課	主事	橋本 延彦
	仙台市	経済局産業政策部産業振興課	主事	齋藤 理奈